

目からウロコの 投資塾

角川 総一氏

事実上のゼロ金利時代には資産の運用だけを考えるのではなく、意識的に負債のコントロールを行なうことが有効である場合が少なくありません。

私たちは一般に資産勘定だけを持つわけではなく、あるとともに「負債を控除した正味の資産を増やすこと」であるはずです。後者の立場からみたものが、いわゆるバランスシ

トの発想です。ゼロ金利時代には運用利回りが低下するため、相対的にコストが高くなつた負債を返済することが従来に比べて有効になります。

さて、図中左側の「金融資産の部」を増やすことが困難なときには、相対的に「コスト高の右の

ゼロ金利時代の資産運用

(2)

負債・資産の総合管理を

資産運用の目的は「余裕資金を豊富に持つこと」で

わが国家計部門のバランスシート (2006年末)	
資産の部	負債・資本の部
金融資産(1572) (=流動性資産)	負債(385)
非金融資産(1003) (=固定資産)	資本(2190)
(出所) 内閣府SNA統計 (注) 家計には個人企業を含む	
単位:兆円	

ば、住宅ローン

現実的に見え

本(正味の財産)

を増やすことが

可能なことです。

は、負債を減ら

すことにより資

本(正味の財産)

を増やすことが

可能です。

であれば

「相対的に高

いコストの負債を前もつ

て返済しておく」ことは

もたらします。

され

る将来のバランシ

ートを考慮すると、「口

も

も、すぐに使えるキャッ

シューが不如意になること

いコストの負債を前もつ

て返済しておく」ことは

避けなければなりませ

ん。

お考えください。

「負債」を圧縮することによってバランスシートを改善できます。左の資産の部のうちの流動性資産(金融資産はほとんどここに入る)で高い収益性が期待できることに起きるときには、負債を減らすことにより資本(正味の財産)を増やすことが可能なのです。

あなたが生命保険や国民年金制度に加入し、あるいはNHKを受信しているなら、それは将来における負債を抱えていることを意味します。「今

現在の負債」でなくとも實質的に2%の資金運用に相当するのです。

果があります。あるいは、個人契約の生命保険を払いから一年前納扱いにすると、月額一万元×十二カ月=十二万円の支払割り引かれます。これは

の繰り上げ返済などです。たとえば年利3%の住宅ローンを百万円まとめて返済することは、百万元を3%で運用したことに等しいのです。

多くの家計では負債を抱えているはず」と記述しましたが、これに抵抗感をもたれた方もいるだろうと思います。多分バランスシートを作成する」と我が家には負債として計上されるものはない」と。しかし、ここで言う「負債」は広義の意味で三百円でOK(△座振替の場合)。これは四・五年度の場合月額一万四千四百円ですが、一年分を前納すれば十六万九千円に四千五百八十円。これを一年分前納すれば二万五千五百二十円なので実質的に1%で運用したと同等の効果を持ります。NHKの受信料は衛星契約で二ヶ月に四千五百八十円。

される将来のバランスシートを考慮すると、「もぼ同じ経済的な効果をもたらします。され

るの繰り上げ返済などです。たとえば年利3%の住宅ローンを百万円まとめて返済することは、百

万元を3%で運用したことに等しいのです。

たとえば国民年金は今

も抱えているはず」と記述しましたが、これに抵抗感をもたれた方もいる

だろうと思います。多分バランスシートを作成する」と我が家には負債として計上されるものはない」と。しかし、ここで言う「負債」は広義の意味で三百円でOK(△座振替の場合)。これは四・五年度の場合月額一万四千四百円ですが、一年分を前納すれば十六万九千円に四千五百八十円。これを一年分前納すれば二万五千五百五百二十円なので実質的に1%で運用したと同等の効果を持ります。NHKの受信料は衛星契約で二ヶ月に四千五百八十円。

される将来のバランスシートを考慮すると、「もぼ同じ経済的な効果をもたらします。

され

るの繰り上げ返済などです。たとえば年利3%の住宅ローンを百万円まとめて返済することは、百

万元を3%で運用したことに等しいのです。

たとえば国民年金は今

も抱えているはず」と記述しましたが、これに抵抗感をもたれた方もいる

だろうと思います。多分

の繰り上げ返済などです。たとえば年利3%の住宅ローンを百万円まとめて返済することは、百

万元を3%で運用したことに等しいのです。

たとえば国民年金は今

も抱えているはず」と記述しましたが、これ